

北水同窓会大阪府支部 12 月例会 於：北大会館(ZOOM にて参加)

講演テーマ：地球温暖化の未来を変える

～2023 年おしよろ丸北極航海の乗船と Floatmeal 株式会社の挑戦～

講演者：北村もあな

(北海道大学大学院水産科学院 修士課程 1 年/ Floatmeal 株式会社 代表取締役 CEO)

日時：2023 年 12 月 16 日 17:00

講演内容：

1. 環境問題への関心

私は日本人の両親のもと、ニュージーランドで生まれ、オーストラリアで育ちました。東京学芸大学附属国際中等教育学校を卒業後は、北海道大学水産学部へ進学。「もあな」はマオリの言葉で「海」の意味。あこがれの北海道で、海について学んでいくうちに、環境問題への関心を持つようになりました。

2. 北大新渡戸カレッジでの学び

北海道大学の学部横断的特別教育プログラム「新渡戸カレッジ」に入校後、他学部、他学年の学生や留学生との交流の機会に恵まれました。地球温暖化について学び、ディスカッションをするゼミや、学生が起業アイデアを発表するビジネスコンペティション「Hult Prize」の運営に参加するきっかけにもなりました。

3. Floatmeal 株式会社

「Hult Prize」に関わる中で、ウキクサを食用として展開する事業アイデアを持つ仲間達と出会い、ビジネスプランを作り上げてきました。令和 5 年 5 月には Floatmeal 株式会社として法人登記を済ませ、現在は代表取締役として日々奔走しています。

Floatmeal 株式会社は、ウキクサの持続可能な安定生産技術の開発により食システムの低炭素化に挑んでいます。ウキクサは、気候変動に強く、成長が早く、低コストでタンパク質やエネルギーを生産できる多機能資源植物で、必要な農地面積および水使用量は、大豆と比較して大幅に削減できます。

4. おしよろ丸北極航海での学び

Floatmeal の活動に加え、学業では北極海についての研究をしています。令和 5 年 6 月から 1 ヶ月間、水産学部附属練習船おしよろ丸の北極航海に参加しました。温暖化について学び、解決するためには、正しくデータを読み解く力が不可欠であると考え、データの見方に新たな視点を取り入れることを目標としました。これまでの研究では、持っているデータだけを見て海のことが分かったような気分になっていたことに気づき、北極航海を通して現場観測の重要性を再認識しました。

5. 今後のビジョン

修士課程修了後のキャリアの目標は地球温暖化の解決策を世界に提供することです。まずは、Floatmeal 株式会社が提供するウキクサを通して地球温暖化の解決に挑んでいきます。

